

## 小学校 外国語活動 部会

部会長	福智町立市場小学校	校長	茅島	陽子
実践者名	川崎町立川崎東小学校	教諭	山内	淑子
実践者名	福智町立伊方小学校	教諭	沖島	美恵子

### 1 研究主題

英語を使って、楽しく積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成  
～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して～

### 2 主題設定の理由

#### (1) 社会の要請から

現代の社会の急速なグローバル化の進展の中では、言語や文化が異なる人々と主体的に協働していく力をつけることが必要である。その際、異文化を理解し、国際共通語である英語力を身につけ、お互いの違いを理解した上で、自分の思いを伝える力をつけることが、極めて重要である。そのためには、英語の習得とともに、我が国の歴史・文化の教養を身につけ、思考力・判断力・表現力等を働かせながら、積極的に相手とコミュニケーションができる力をつけることが必要である。そこで、今後の英語教育において、その基礎的・基本的な知識・技能とそれらを活用して主体的に課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成することは、児童生徒の将来的な可能性の広がりのために欠かせない。特に小学校においては、英語を使って、互いの考えや気持ちを伝え合う能力の育成をどのようにしていくべきかが大きな課題である。

以上のことから、『英語を使って、楽しく積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成』を探る研究は、大変意義深いと考える。

#### (2) 小学校外国語教育の動向から

学習指導要領(平成29年告示)においても、「中学年の外国語活動導入の趣旨」の中で、「グローバル化が急速に進展する中で、外国語によるコミュニケーション能力は、これまでのように一部の業種や職種だけでなく、生涯にわたる様々な場面で必要とされることが想定され、その能力の向上が課題となっている」とコミュニケーション能力をつけることの生涯にわたる必要性を述べている。しかし、同時に「小学校から各学年段階における指導改善における成果が認められるものの、学年が上がるにつれて児童生徒の学習意欲に課題が生じるといった状況が見られる」という課題が指摘されている。特に、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するためには、児童が、さまざまな相手と互いの思いを伝え合うコミュニケーションを図ることの楽しさを実際に体験させることが大切である。コミュニケーションの楽しさを味わうことなしに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成することは難しい。

よって、中学年の外国語活動において、英語を使って、楽しく積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童を育成することは、高学年における外国語科で身につけなければいけないコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力をつけることにつながり、大変

意義があると考える。

### 3 主題と副題の意味

#### (1) 主題の意味

##### 「楽しく」とは

「楽しく」とは、その瞬間が愉快だというだけでなく、学習において、「自分が何かができるようになった」「友だちと一緒に活動できて嬉しい」「友だちのことを知れた」「自分のことを分かってもらった」などの喜びを感じているときであると考える。

外国語活動において、児童が楽しさを感じる時は、英語を使って、相手に自分のことを伝えられた、相手が伝えていることを理解できた、相手のことを知ることができたときである。

##### 「積極的に」とは

「積極的に」とは、物事に興味・関心をもったり、進んで取り組んだりすることである。

外国語活動の学習で、児童が積極的に活動するときは、その活動の目的や相手をはっきりしているときや内容が児童の実態に合っているとき、達成できる見通しが持てるときである。

##### 「コミュニケーション」とは

「英語を使って、楽しく積極的にコミュニケーションを行う」における「コミュニケーション」とは、分かってもらいたい事実や気持ち、考えを相手に伝えたり、伝達されたことが分かるように反応したりすることである。

外国語活動の学習における「コミュニケーション」では、意味のあるやり取りを通して、互いの心を通わすことの大切さを児童に意識させるとともに、その楽しさを実感させることが大切であると考える。

「英語を使って、楽しく積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成」とは、外国語活動のさまざまな場面において、体験を通じて、基本的な英語の単語や表現に慣れ親しみ、慣れ親しんだ英語を使って、思考力・判断力・表現力を働かせ、自ら進んで話しかけたり、友だちとお互いのことをわかり合ったりすることに喜びを感じることができ児童の育成の仕方を探ることである。

#### (2) 副題の意味

##### 「外国語活動における、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」とは

###### ① 外国語教育における「主体的な学び」とは

ア 外国語を学んだり、外国語を用いてコミュニケーションを行ったりすることに興味・関心をもつこと

イ 外国語によるコミュニケーションを通して社会・世界と関わり、学んだことを生かそうとすること

ウ コミュニケーションを行う目的・場面・状況等を明確に設定したり理解したりして見通しをもって粘り強く取り組むこと

エ 自らのコミュニケーションの在り方を振り返り次の学習につなげることである。

###### ② 外国語教育における「対話的な学び」とは

ア 他者を尊重して情報や考えなどを伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりすること

イ 聞いたり話したりすることを中心として、書かれたものを読んで社会や世界の様々なことについて知ったり、他者の考え方を学んだり、自分の考えを深めたりすること  
である。

### ③ 外国語教育における「深い学び」とは

ア コミュニケーションを行う目的・場面・状況に応じて考えたり表現したりする中で、言語の働きや役割に関する理解や外国語の音声、語彙・表現、文法の知識がさらに深まり、それらの知識を実際のコミュニケーションで運用する技能がより確実なものとなるようにすること

イ 深い理解と確実な技能に支えられて、外国語教育において育まれる「見方・考え方」を働かせて思考・判断・表現する力が活用されるようにすること  
である。

これらの「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりを行うことで、外国語教育における学習が、児童一人一人の資質・能力の育成や生涯にわたる学びにつながる意味ある学びになると考える。

## 4 研究の目標

第3学年の外国語活動において、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを通して、英語を使って、楽しく積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成をめざす。

## 5 研究仮説

次のような着眼で、主体的・対話的で深い学びを意識した授業づくりを行えば、児童は、英語を使って、楽しく積極的にコミュニケーションを図ろうとするようになるであろう。

### 【着眼1】 お互いの思いがより伝わるような工夫

○お互いの思いがより伝わるように、「Eye Contact」「Smile」「Reaction」の3つを意識しながら、コミュニケーションをするように、気をつけることを確認する。

### 【着眼2】 聞く・話す必然性がある場の設定

○インタビューを行い、インタビューで聞き取ったことをタブレットに入力させ、集計されたクラスのすきなもののランキングをもとに交流活動を行い、友だちのことが分かる楽しさを実感させる。

### 【着眼3】 振り返りカードの活用

○毎時間、授業を振り返らせ、達成すべきことができたかどうかや学習して分かったこと、できるようになったこと、気付いたことなどを振り返りカードに書かせることで、自分の成長の喜びや友だちのことを知る楽しさを実感させる。

6 研究の計画（授業の計画）

(1) 単元名 What do you like?

(2) 単元目標

- ・日本語と英語の音声の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。（知識及び技能）
- ・何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。

（思考力、判断力、表現力等）

- ・相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。

（主体的に学習に取り組む態度）

(3) 言語材料

- What do you like? I like (tennis). What (sport) do you like? I like (soccer).
- what, color, sport, volleyball, table tennis, food, hamburger, pizza, spaghetti, steak, salad, cake, noodle, egg, rice ball, jam, fruit, grapes, pineapple, peach, melon, banana, kiwi fruit, lemon

(4) 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りのものを表す簡単な語句を聞き取るようにする。
話すこと (やりとり)	ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

(5) 単元指導計画（4時間）

単元	What would you like ? 何が好き？	総時数	4時間	時期	9月
単元の目標	○日本語と英語の音声の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。（知識及び技能） ○何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。（思考力、判断力、表現力等） ○相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。（学びに向かう力、人間性等）				
時	具体的な目標（◆） 主な学習活動（○） 評価（◎）				
1	◆日本語と英語の音声の違いに気付くとともに、身の回りの物の言い方を知る。				

	<p>○指導者の話から活動への見通しをもつ。</p> <p>○身の回りのものの言い方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キーワードゲーム</li> <li>・おはじきゲーム</li> </ul> <p>○指導者の話から何が好きかを尋ねる表現の言い方を知る。</p> <p>○【Let's Chant】 What do you like?</p>	<p>◎日本語と英語の音声の違いに気付いている。(行動観察、振り返りカード)</p> <p>◎身の回りの言い方を聞いている。(行動観察、振り返りカード)</p>
2	<p>◆何の色が好きかを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>○キーワードゲーム</p> <p>○ミッシングゲーム</p> <p>○ビンゴゲーム</p> <p>○【Let's Chant】 What do you like?</p> <p>○インタビュー (好きな色は何かを尋ね合う)</p> <p>○Who am I? クイズ</p>	<p>◎何の色が好きかを尋ねたり、答えたりしている。(行動観察、振り返りカード)</p>
3	<p>◆何が好きかを尋ねたり、答えたりして伝え合う。</p> <p>【Let's chant】 What do you like?</p> <p>【Let's Watch and Think】 p.21</p> <p>○友だちの好きなもの(果物、食べ物、スポーツ)を予想して尋ね合う。</p>	<p>◎何が好きかを尋ねたり、答えたりしている。(行動観察、振り返りカード)</p>
4	<p>◆相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。</p> <p>○ALTの先生の動画を見る。</p> <p>○Who am I? クイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなものを聞いて、それが誰かを当てる。</li> </ul> <p>○【Let's Chant】 What do you like?</p> <p>○友だちに好きなものを尋ねたり、答えたりして、伝え合う。</p>	<p>◎相手に伝わるように、好きなものを尋ねたり、答えたりしている。(行動観察、振り返りカード)</p>

## 7 指導の実際

### 【実践例1】

#### (1) 本時の主眼

友だちに何色が好きかを尋ねたり、答えたりして、お互いの好きな色を伝え合う表現に慣れ親しませる。

#### (2) 準備物

教師 Let's try 1 のデジタル教材、色の絵カード、タブレット

児童 色の絵カード、ワークシート、タブレット

(3) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点 (○) と評価 (※) JTE と ALT の支援 (☆)
<p>1 あいさつをする。 Good morning! How are you? I'm fine. Good! How are you? I'm happy. Good! Thank you.</p> <p>2 ALT と JTE の会話を聞く。</p> <p>3 本時の学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>友だちに好きな色をたずねたり、答えたりしよう。</p> </div> <p>4 好きな色を尋ねたり、答えたりする。</p> <p>① 色の英語を発音し、チャンツを言う。</p> <p>② キーワードゲームをする。</p> <p>③ ミッシングゲームをする。</p> <p>④ ビンゴゲームを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ビンゴゲームの進め方 (1)児童が What color do you like ? と ALT に尋ねる。 (2)ALT が、I like red. I like blue. など、○○が好きという英語を言う。 (3)ALT の言った色のカードを裏返し、一列がそろったら、Bingo! と言う。</p> </div> <p>⑤ 好きな色を尋ねたり、答えたりする。 ・友だちに好きな色を尋ね、ワークシートに記入する。 ・指定された児童の好きな色をタブレットに入力する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 150px;"> <p>What color do you like? Ok! I like blue.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 150px;"> <p>I like red. What color do you like? Oh! I see.</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin: 5px 0;">   </div> <p>⑥ Who am I? クイズを行う。 ・自分が尋ねたことをもとに、○○色が好きな児童は誰か、予想する。</p>	<p>☆ALT&amp;JTE・・・児童と英語であいさつをする。...</p> <p>○気分を尋ね、既習の英語の表現を思い出させる。</p> <p>☆ALT&amp;JTE・・・デモンストレーションを行う。...</p> <p>○ALT と JET とで、好きな色を尋ねるデモンストレーションを行い、本時の学習のめあてにつなげる。</p> <p>☆JTE・・・本時のめあてを確認する。</p> <p>○めあてを確認することで、本時のゴールの姿を明確にする。</p> <p>☆ALT・・・色の英語や What color do you like?... I like red... I like blue... などの表現を発音する。...</p> <p>○色を表す絵を示しながらチャンツを言うことで、英語の意味がイメージできるようにする。</p> <p>☆JTE・・・ゲームのやり方を説明する。...</p> <p>☆ALT・・・ゲームをしながら、形を表す英語を発音する。...</p> <p>○ゲームを通して、好きな色を表す英語を何度も発音したり、ALT が、I like～. と答える英語を何度も聞くことで、好きな色を尋ねたり答えたりする英語に慣れるようにする。</p> <p>☆JTE&amp;ALT・・・デモンストレーションを行う。...</p> <p>○Oh! Me too! I see. などの反応表現を入れてデモンストレーションを行い、会話で意識する視点① Smile ② Eye contact ③ Reaction を確認する。</p> <p>☆JTE&amp;ALT・・・活動に加わり、必要に応じて支援する。...</p> <p>○クラスの友だちの好きな色を知ること、英語でコミュニケーションを行い、友だちのことを知る楽しさに気づかせる。...</p> <p>※友だちの好きな色を尋ねたり、答えたりしている。 (行動観察・ワークシート)</p> <p>☆JTE・・・好きな色を言い、それは誰のことを児童に尋ねる。...</p> <p>○児童どうしの相互理解を一層深め、学級の仲間づ</p>

<p>5 本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 振り返りカードを記入する。</li> <li>・ 振り返りを発表する。</li> </ul>	<p>くりにつながるようにする。</p> <p>☆<u>JTE・・・振り返りを数名の児童に発表させる。</u>...</p> <p>○児童の英語を使おうとする態度でよかった所を具体的に褒めることで、次時への意欲を高める。</p>
---	--

【実践例 2】

(1) 本時の主眼

相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。

(2) 準備物

動画、ワークシート、振り返りシート、教師用絵カード（給食、遊び、お菓子）

(3) 本時の展開

学習活動	指導者（T）の活動と使用英語例 ◎評価
<p>○Hello、Greeting</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 挨拶をし、曜日、日付、天気を言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体に挨拶をして、個別にも挨拶をする。個別に挨拶をすることを通して、児童に一人でも英語で挨拶が言えたと成就感を持たせるようにする。</li> </ul>
<p>○ALT のナディーン先生が好きなものについて話している動画を視聴する。</p> <p>○本時のめあてをつかむ。</p>	
<p>友だちにインタビューして、3－2のすきなもののランキングを作ろう。</p>	

○Who am I? クイズ ・ヒントを聞いて誰かを当てる。	・ある人物になりきって、I like～.(給食、お菓子等)を使って好きなものを言い、それが誰かを尋ねる。 ・その人物の写真を貼りながら、答えを確認する。
【Let's Chant】What do you like? ○Interview	・児童と一緒に言う。
・インタビュー結果をロイロノートで集計する。	・インタビューすることを告げる。 T : Let's play the interview. Are you ready? ◎表現を聞いたり言ったりしている。(行動観察、ワークシート点検)
・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを賞賛する。 〈振り返りカード点検〉
○Goodbye Greeting ・挨拶をする。	

## 8 研究のまとめ

### 【着眼1】お互いの思いがより伝わるような工夫

○お互いの思いがより伝わるように、やりとりの前に、【写真1】のように、ALTとJTEのデモンストレーションで3つの視点「Eye Contact」「Smile」「Reaction」を示し、これらの視点を意識しながら伝え合うことを確認した。「Reaction」の視点では、「I see.」「Me too.」「Ok!」「Wow」「Thank you.」などの反応表現を具体例として示した。

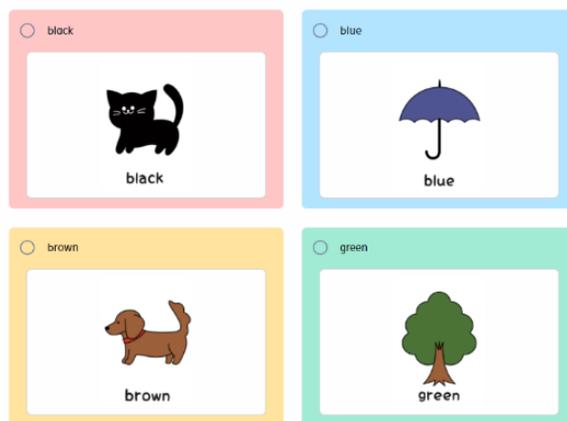
実際のやりとりでは、笑顔で友だちに質問をしたり、友だちの言ったことに対して、これらの表現の中から言葉を選んで反応したりする姿が見られた。振り返りシート「今日の学習は、楽しかったですか」の問いに、児童は「楽しかった」93%、「まあまあ楽しかった」7%と答えていた。また、記述の中にも「みんな笑顔でよかったです」「インタビューが楽しかったです。また、みんなにインタビューしたいです。」などの感想が見られ、友だちとやりとりをすることに楽しさを感じることができたようであった。

### 【着眼2】聞く・話す必然性がある場の設定

○インタビューを行い、インタビューで聞き取ったことをタブレットに入力した。【写真2】の通りである。集計されたクラスの好きなもののランキングについて交流する場を設定した。クラスの好きな色ベスト3を当てる場面では、児童は友だちにインタビューした結果をもとに、意欲的に予想して発言しようとする姿が見られた。また、タブレットの集計結果をもとに Who am I?クイズを行った。児童は、「I like brown. Who am I?」などの問いに興味をもって予想する姿が見られた。振り返りカードの記述の中に、「だれかを当てるクイズが楽しかったです」という感想が挙がっていたことから、友だちのことが分かる楽しさを実感させることができたと考える。



【写真1】



【写真2】

### 【着眼3】 振り返りカードの活用

○毎時間、授業で達成すべきことができたかどうかを振り返らせた。そして、学習して分かったことや気づいたこと、感想などを振り返りカードに書かせた。振り返りカードの結果は【表1】の通りである。振り返りカードに書かれたことを全体の場で交流し、価値付けを行った。授業で達成すべきことができたことを自己評価させ、やりとりができたことや友だちのことを知る楽しさを味わったこと、分かったことが増えたことなどに価値付けを行うことで、自分の成長を実感させることができた。以上のことから、毎時間、振り返りカードを書かせることは、成長の喜びや友だちのことを知る楽しさを実感させることにつながり、有効であると考えられる。

振り返りシートのまとめ

1 今日の学習は楽しかったですか。

楽しかった	まあまあ楽しかった	あまり楽しくなかった	楽しくなかった
93%	7%	0%	0%

2 英語の歌を歌うことができましたか。

できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった
89%	3%	3%	3%

3 キーワードゲームの時に色の英語を先生の発音を聞いて繰り返して言うことができましたか。

できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった
89%	7%	3%	0%

4 ビンゴゲームの時に先生に「What do you like? (何色が好きですか)」と英語でたずねることができましたか。

できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった
86%	0%	11%	0%

5 友だちに「What do you like? (何色が好きですか)」と英語でたずねることができましたか。

できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった
96%	4%	0%	0%

6 友だちに「I like~(何色が好きです)」と英語で答えることができましたか。

できた	だいたいできた	あまりできなかった	できなかった
96%	4%	0%	0%

7 今日の授業で分かったことや気づいたこと、感想を書いてください。

- 今日の勉強で、いろいろな人の好きな色が分かった。
- みんなの好きな色が分かってよかった。楽しかった。
- 好きな色をきくのがめちゃくちゃ楽しかったです。
- 前より、たずねた人の人数がふえたのでよかったです。
- インタビューが楽しかったです。また、みんなにインタビューしたいです。
- いろいろな人の好きな色を知ることができて、よかったです。
- いろいろな色の英語を知ることができて、うれしいです。
- 誰か当てるクイズが楽しかったです。
- いろいろなゲームがあって、楽しかったです。
- みんなが笑顔でよかったです。
- ビンゴゲームが楽しかったです。
- キーワードゲームとビンゴゲームが楽しかったです。
- 歌を歌ったり、クイズをしたりするのが楽しかったです。

【表1 振り返りカードの結果】

9 成果と今後の課題

- 小学校3学年において、お互いの思いがより伝わるような工夫として、やりとりの

際に意識する視点を3つ具体的に示したことは、児童がめざすコミュニケーションの姿を明確にすることができ、楽しく積極的にコミュニケーションを図ろうとすることにつながった。

- インタビューした後、タブレットを使って集計し、クラスの好きなものベスト3をみんなで予想したことは、全員でインタビューすることに必然性をもたせることができた。
- 毎時間、振り返りカードを使って、授業の振り返りを行わせ、全体の場で価値付けを行うことで、達成すべき点を「自分はできた」と児童に実感させることができた。児童に自信を持たせることは、楽しく積極的にコミュニケーションを図る児童を育成する上で効果があったと考える。
- 実際のコミュニケーションにおいて、お互いの思いを十分に伝えるためには、コミュニケーションで使う英語の単語や表現に十分に慣れ親しんでおく必要がある。そのため、言語材料が増えても十分に慣れ親しむための活動構成を工夫する必要がある。

#### ◎ 参考文献

- 文部科学省（2017）.『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語活動・外国語編』東京：開隆堂出版
- 文部科学省(2018). 小学校外国語活動・外国語教材ダウンロード専用サイト (<https://mext-next-kyozai.mext.go.jp/>)
- 村野井仁（2006）.『第二言語習得研究から見た効果的な英語学習法・指導法』東京：大修館書店
- 北山長貴（2020）「小学校外国語活動」の語彙・句と表現『Let's try! 1』の分析』『山形県立米沢女子短期大学紀要』